茨城キリスト教大学附属　　**２０１７年度**

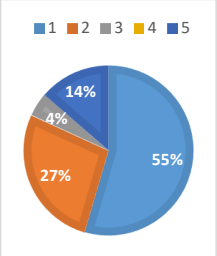
認定こども園せいじ園

＊＊自己点検、自己評価表＊＊

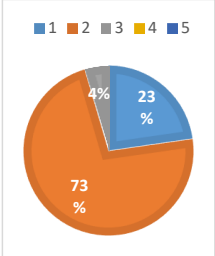
1.よくできている
2.まあまあできている
3.あまりできていない
4.まったくできていない
5.無回答

「保育のあり方、子どもへの対応」

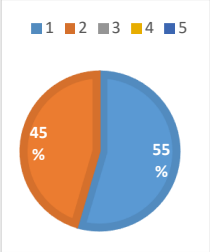
①朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確かめている。



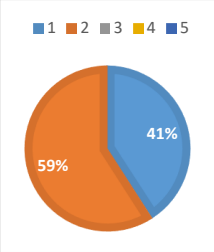
②子どもの話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している。



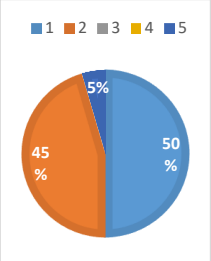
⑥子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけている。



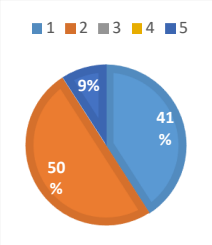
⑦子どもの話をよく聞くようにしている。



⑩子どもをほめたり励ましたり、子ども自身が目当てをもっていくような言言葉かけをしている。

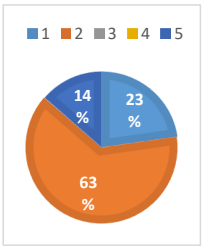


⑭クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している。

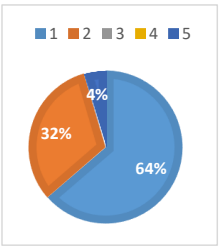


「保育者としての資質や能力・良識・適性」

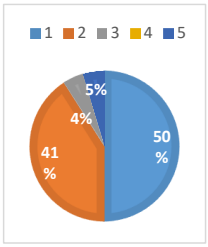
②　保護者に対し、子どものことや自分の保育のことをわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている。



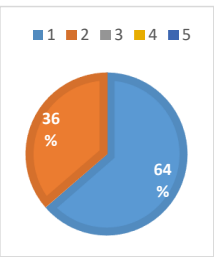
④　保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している。



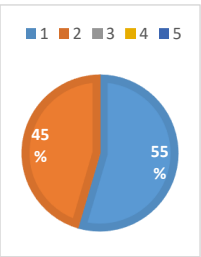
⑤　子どもや保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている。



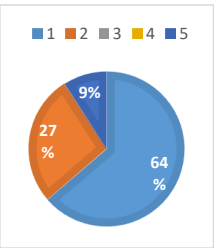
⑥　朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している。



⑦　服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている。

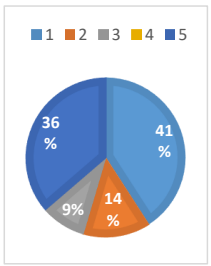


⑪　子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長(副園長)や主任に報告、連絡、相談している。

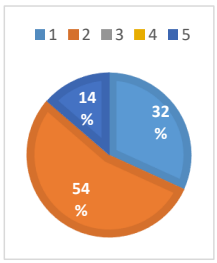


「保護者への対応・守秘義務」

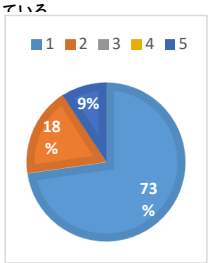
②　個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝え合っている。



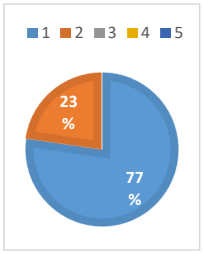
③　子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている。



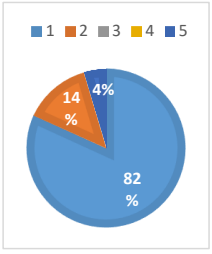
④　保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長(副園長)や主任等に報告や相談をしている。



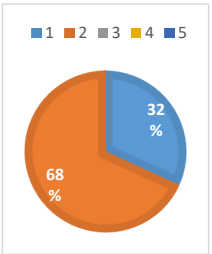
⑤　教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない。



⑥　秘密情報(保護者・園児等に対する情報、および園の運営上の情報、保育技術、保育計画等の情報)については園長(副園長)の許可なく使用、開示、漏えいしていな

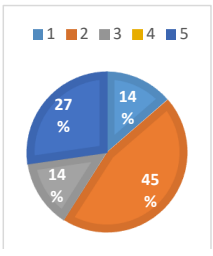


⑧　正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。

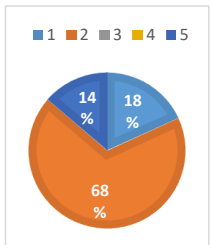


「保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度」

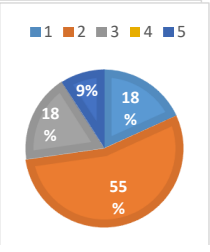
①　研修会や研究会には自己課題を持って参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている。



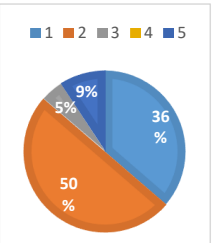
②　自分の保育については自己課題を持って計画と反省を行うとともに、保育の在り方や悩みについて他の保育者や主任、園長(副園長)と話し合っている。



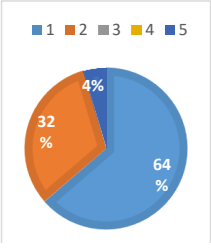
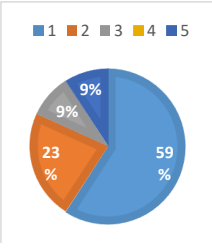
⑥　園庭や砂場、通路、隠れ場所などの位置・広さなどがどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かしている。



⑧　子どもを取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味関心を持っている。



⑨　アレルギー・自立の遅れなど、最近多くみられる問題について興味・関心を持っている。



⑩　子どもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心を持っている。